

平成25年度第2回 天然記念物「高宕山のサル生息地」のサルによる
被害防止管理委員会会議録

1 会議の名称	平成25年度第2回天然記念物「高宕山のサル生息地」のサルによる被害防止管理委員会会議
2 開催日時	平成26年2月25日(火) 14時00分～15時10分
3 開催場所	富津市役所5階 502会議室
4 審議等事項	(1) 平成25年度事業経過報告及び予算執行状況について (2) 平成26年度事業計画(案)及び予算(案)について
5 出席者名	(委員) 高橋 恭市、武次 治幸、渡辺 隆二、本吉 貞夫 高橋 正人、釘持 壽志、茂田 達也、関谷 康男、 伊田 重美、池田 文隆、 (千葉県)平田 和弘、大澤 浩司 事務局 (富津市)古宮 浩二、藤江 洋史、小澤 洋、齋藤 光広 (君津市)矢野 淳一、當眞 紀子、朝倉 唯 (調査団)直井 洋司、萩原 光、白鳥 大祐
6 公開又は非公開の別	公開 ・ 一部非公開 ・ 非公開
7 非公開の理由	
8 傍聴人数	0 人(定員5人)
9 所管課	教育部生涯学習課文化係 電話 0439-80-1342
10 会議録(発言の内容)	別紙のとおり

発言者	発言内容
富津市生涯学習課藤江課長	<p>定時となりましたので、平成25年度第2回天然記念物「高宕山のサル生息地」のサルによる被害防止管理委員会会議を始めさせていただきます。</p> <p>本日の会議は、出席者10名、欠席者3名です。過半数の委員の出席を得ており、本委員会設置要綱第7条第2項により成立しております。</p> <p>委員の変更につきまして、ご報告いたします。昨年7月より千葉県森林組合君津支所長が甲賀 茂晴様から伊田 重美様に変更されましたので、ご報告いたします。</p> <p>会議に先立ちまして、委員長であります、高橋富津市副市長から挨拶を申し上げます。</p>
高橋委員長	<p>委員の皆様におかれましては、年度末公私共にご多忙の中、ご臨席を賜りありがとうございます。</p> <p>また、日頃富津市・君津市の文化財行政にご理解とご協力を頂きまして深く感謝申し上げます。</p> <p>本日はお忙しい中、千葉県教育庁教育振興部文化財課から平田様、千葉県環境生活部自然保護課から大澤様にお越しいただきありがとうございます。</p> <p>昭和62年に設置されました当委員会でございますが、サルや猪・鹿等による作物への被害の声がかかる昨今、その役割は益々重要なものとなっております。</p> <p>今回の議題は、</p> <p>(1) 平成25年度事業経過報告及び予算執行状況について。</p> <p>(2) 平成26年度事業計画(案)及び予算(案)について</p> <p>様々な立場からのご意見、ご提案、活発なご審議をお願いいたします。</p> <p>簡単ではございますが、挨拶とさせていただきます。</p>
藤江生涯学習課長	<p>続きまして、お手元にお配りしました資料の確認を小澤文化係長よりさせていただきます。</p>
小澤文化係長	<p>それでは資料の確認をさせていただきます。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 会議次第 2 委員名簿と本日の出席表 3 会議の席次表

<p>藤江生涯学習課長</p>	<p>4 平成25年度被害防止管理事業調査経過報告 5 平成25年度予算執行状況 6 平成26年度被害管理防止事業計画書（案） 7 平成26年度被害防止管理事業予算（案）</p> <p>本日の会議資料は以上ですが、不足はございませんでしょうか。ないようでしたら、資料の確認を終わります。</p> <p>次に会議の公開についてですが、この会議は、富津市及び君津市情報公開条例により一般に公開されます。公開の方法としまして、会議の終了後、会議録を作成し、両市のホームページにて公開します。これに伴いまして、会議録が会議の経過を記載し、事実と相違ないことを証するために、委員の中から2名の方に署名委員として署名を頂きたいと思います。議題に入る前に、2名の方をお選びいただき、後日、御署名を頂きたいと思いますので、よろしくお願ひいたします。</p> <p>では、本委員会設置要綱第7条第3項の規定により、議長を高橋委員長にお願いいたします。</p>
<p>高橋議長</p>	<p>それでは、議題に入る前に署名委員を2名決めたいと思います。こちらからの指名でよろしいでしょうか。</p> <p>（異議なしの声）</p> <p>関谷委員と池田委員にお願いしたいと思いますが、よろしいでしょうか。</p> <p>（異議なしの声）</p>
<p>當眞文化財係長（君津市）</p>	<p>では、議題に入ります。議題（1）平成25年度事業の経過報告及び予算執行状況について関連がありますので一括して事務局の説明を求めます。</p> <p>平成25年度事業経過について報告いたします。 ○以下、平成25年12月31日現在で資料に沿って説明。 実施した事業は、1. 被害防止、2. 生態調査と個体数管理、3. 天然記念物指定地域の生息環境調査の大きく3つに分けて行われています。</p>

1. 被害防止について

既存電気柵の維持管理については、月1回以上の点検と補修を行った。富津市宇藤原地区では、集落を囲うように設置している電気柵について、年3回例年通り電気柵周辺の草刈りを行った。

改修については、12月末現在実施していないが、今年度中に宇藤原地区・君津地区で合計200m程度実施する予定であったが、2月の2度の大雪で被害があり、どこを直すのかは見直しが必要な状況になった。

撤去については、一部区間（50メートル）について斜面に接して配置されており草刈り等維持管理事業が困難なため撤去した。

被害多発期の追い払いについては、8月8日から9月8日までの32日間、延べ75人（うち14人はボランティア）で実施した。

主に、T-1群を終日追跡・監視、または被害予想される場合にはロケット花火を用いて追い払いを行った。また指定地域や要現状変更範囲周辺で他の群れの遊動が確認された場合、できる限りT-1群と同様に追い払いを実施した。

被害実態調査については、本年度3月に実施いたします。

2. 生態調査と個体数管理

(1) テレメーターの装着を目的とした捕獲

テレメーターを装着するために、小型捕獲檻を10基稼働させた。平成24年度の5基から増やして稼働している。現状での捕獲頭数は3頭で、捕獲し個体の外部計測や血液サンプルの採取などを実施したが、捕獲個体はコドモであったため、テレメーターの装着にはいかなかった。

このほか、T-1群のオトナメスと思われる個体が富津市有害鳥獣捕獲による銃駆除にあい、個体を捕獲者より提供を受け、外部計測と採血を実施後、峰上ステーションにて冷凍保存した。県では、現在交雑問題が緊急課題になっており、解決・現状把握のため血液サンプルの採取・分析は必須項目であるが、現状では分析まで行えない。今後県等と連携を図り検討が必要だと思われる。

(2) 追跡調査

昨年に引き続きテレメーターを装着しているT-I群、T-II群、石見堂群、旅名A群（仮称）の4群を調査対象とした。

① T-I群（昨年に続きテレメーター装着個体の追跡調査した）

i) 行動域

富津市田倉、東大和田、高溝、大川崎、大田和、関地区付近で遊動を確認した。行動域は、昨年度と比較して南西方面へ拡大傾向が見られた。大川崎、大田和、関地区での確認は初めてである。

ii) 個体数

8月14日に95頭をカウントした。

②T－Ⅱ群

i) 行動域

富津市高溝、東大和田、大川崎、大田和地区付近で遊動を確認した。

ii) 個体数

12月末までカウントの機会は得られていない。調査の印象では個体数が少ない群れであると思われる。

③石見堂群

i) 行動域

富津市宇藤原、高溝、田倉地区、君津市船塚地区、ジャパンPGAゴルフクラブ付近で誘導を確認した。

ii) 個体数

12月末までカウントの機会は得られていない。

④旅名A群

i) 行動域

君津市旅名、怒田沢、倉沢、奥畑地区付近で遊動を確認した。

ii) 個体数

12月末までカウントの機会は得られていない。

(3) 石見堂群周辺のテレメーター未装着群の調査

石見堂群の行動域内で、度々発見される電波信号のない群れについて調査した。テレメーター装着個体「シンジ」が含まれる石見堂群と電波発信のない群れの行動域はほぼ一致している。「シンジ」がオスであり、群れから離れて行動していることも予想される。この2つの群れは同一の群れ、「シンジ」がいる時の石見堂群といない時の石見堂群であると思われる。

(4) 個体数管理

今年度の有害鳥獣駆除については、例年通り君津市農林振興課、富津市農林水産課から資料を提供いただき、今年度末に取りまとめる予定です。

3. 環境改変と生息環境調査

①天然更新

高宕山県有林の広葉樹林造成試験地において樹高5m以上対象に成長量の測定を今年度3月実施予定です。

②ヤマザクラ植栽地の成長状況

国有林の皆伐跡地に植栽したヤマザクラについて成長量の測定を今年度3月に実施予定です。

③生息環境調査

例年通り、富津市宇藤原地区の峰上ステーションで気温と降水量を測定している。このデータについて、今年度末に取りまとめる予定です。

平成25年度事業の経過報告は以上です。

小澤文化係長 (富津市)	<p>それでは引き続き平成25年12月31日現在の平成25年度予算執行状況についてご説明いたします。</p> <p>○資料に沿って予算執行状況を説明</p> <p>歳入 委託料 4,473,000円 (内訳 富津市2,460,000円、 君津市2,013,000円)</p> <p>歳出 予算額 4,473,000円 執行済額 3,301,738円 予算残額 1,171,262円</p> <p>以上です。</p>
直井(調査団)	<p>補足説明させていただきます。</p> <p>電気柵の改修ですが、今年2回の大雪によって、特に宇藤原地区の電気柵について、標高も高く積雪も多かったので、電気柵にも着雪があり、ポールが折れてしまっている箇所も数か所出てきています。現状でまだどれくらい修繕に時間がかかるのか把握できていませんが、今年度予定していた電気柵の修繕よりも、雪により破損した電気柵の修繕・材料費を優先しようと考えており、ご了承をお願いします。</p> <p>サルの捕獲については、12月末までに3頭捕まえました。体重が6キロ以下のコドモザルのためテレメーター装着には適しませんでした。適さない理由としては、テレメーターは首に着けるのですがコドモだと成長する過程で首を締め付け、個体を損傷する可能性があるからです。今年になって君津市怒田沢でオトナメスを1頭捕まえ、テレメーターを装着し追跡を行っています。旅名A群の北方で捕まえたのですが小さな群れでした。このサルの群れの動向については今後の調査によります。</p> <p>もう1頭を富津市宇藤原地区で捕まえました。オスザルだったので、テレメーター装着は断念しました。</p> <p>それと最近サルが、小型檻にかかりにくい状況です。理由は、根拠はないが、私たちが長年みてきた感触ですが、捕獲檻に対するサルの警戒心が高まっているのではないかと思います。10～15年前だったら、10数台檻を置くとテレメーター装着に適した個体は何頭も檻にかかったが、最近は捕獲が難しい状況です。</p> <p>T-1群の行動域ですが驚いたことに、田倉地区から国道を渡り、今までいなかった南西方向の東大和田に遊動域が広がりました。</p> <p>T-1群の今後の行動を引き続き調査し、様子をみたいと思います。</p> <p>石見堂群ですが、テレメーター装着個体の「シンジ」が含まれない群れがほぼ同じ群れ、同じ集団ではないかと考えられますが、わかりにくい小さい群れをちらほら宇藤原地区で目にしています。石見堂群の南の地区に新たに群れが発生しているのではないかと。石見堂群のメスに新たにテレメーターが着けば、はっきりすると思います。</p>

	<p>あと、突然の話で申し訳ありませんが、環境改変の調査について、1980年から委託していた蒲谷氏の体調が悪いため、別の方に依頼していたが、その方が2月つい最近急に亡くなったため、例年通りの実施が難しい状況になってしまった。環境改変は2年に1回やっており、今年度できないと、2年間やらないことになる。長年のデータがあるので大きな影響はないと思うが、今年度の分を来年度に行うこととしてよいかについて、委員会で検討していただきたい。</p> <p>電気柵の改修ですが、12月末まで使ってはいませんが2月の雪害の損傷による修理の材料費と人夫代として使われることになると思います。調査用品ですが、予算ではテレメーターを1台5万円で6台分、30万円を予定していましたが、12月末で2台しか購入しておりません。現状テレメーターを着けたのが1台です。ただし、例年2月から3月は年間を通してサルを捕獲しやすい、かかりやすい時期なので、残り1月余りですが、新しく2～3頭捕まえられ装着できることがあると思いますが、できれば、予定していた6台のテレメーターを4台までに減らし、その分サルの捕獲に係る経費に費やすことを考えておりますので、ご承知ください。</p>
高橋議長	説明が終わりました何か質問等ございますか。
渡辺委員	電機柵の撤去のなかで、50メートル分撤去したという説明であったが、撤去した理由と、撤去しないことの効果的な面とマイナス面についてお聞きしたい。
直井(調査団)	<p>撤去につきましては、草刈り等の維持管理作業が困難であるのが一番の理由です。</p> <p>維持管理ができないと電気が流れません。物理的には柵があるということでイノシシの通路(進路)を塞ぐ効果はありますが、この電気柵自体が古いタイプなので効果的ではありません。可能であれば撤去した50メートルの一部を改修したいと考えています。</p>
高橋議長	<p>まだ他にございますか。年度途中とのこともありまして、委員からの意見も入れた中で3月まで行っていってもらえればと思います。</p> <p>ほかに何かございませんか。ないようでしたら議題(2)に移りたいと思います。</p> <p>議題(2)平成26年度事業計画(案)及び予算(案)について事務局の説明を求めます。</p>

事務局 當眞文化財 係長	<p>平成26年度事業計画（案）について説明いたします。 ○以下、資料に沿って説明。 平成26年度の事業計画・詳細は次のとおりです。</p> <p>(1) 被害防止事業</p> <p>①既設電気柵の維持管理 ②被害多発期の追い払いによる被害防止 ③被害実態調査</p> <p>(2) 生態調査と個体数管理</p> <p>①指定地域とその周辺に生息する群れの生態と個体数 ②T-1群の生態に関するデータの取りまとめ ②個体数管理</p> <p>(3) 天然記念物指定地域の環境改変と生息環境調査</p> <p>①生息環境調査</p> <p>直井さんから話のあった環境改変の調査について、26年度計画に入れてよいかどうか、ご審議いただきたい。 平成26年度事業計画（案）は以上です。</p>																														
小澤文化係長	<p>それでは引き続き平成26年度予算案についてご説明いたします。 ○資料に沿って予算案を説明。</p> <table data-bbox="443 1093 1086 1496"> <tr> <td>歳入</td> <td>委託料</td> <td>4,473,000円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>内訳</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>富津市</td> <td>2,460,000円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>君津市</td> <td>2,013,000円</td> </tr> <tr> <td>歳出</td> <td>予算額</td> <td>4,473,000円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>報償費</td> <td>119,000円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>賃金</td> <td>3,122,000円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>旅費</td> <td>252,000円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>消耗品費</td> <td>960,000円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>役務費</td> <td>20,000円</td> </tr> </table> <p>平成26年度予算（案）につきましては以上です。</p>	歳入	委託料	4,473,000円		内訳			富津市	2,460,000円		君津市	2,013,000円	歳出	予算額	4,473,000円		報償費	119,000円		賃金	3,122,000円		旅費	252,000円		消耗品費	960,000円		役務費	20,000円
歳入	委託料	4,473,000円																													
	内訳																														
	富津市	2,460,000円																													
	君津市	2,013,000円																													
歳出	予算額	4,473,000円																													
	報償費	119,000円																													
	賃金	3,122,000円																													
	旅費	252,000円																													
	消耗品費	960,000円																													
	役務費	20,000円																													
高橋議長	事務局から補足説明がありますか。																														
直井(調査団)	ありません。																														
高橋議長	ご意見は何かございますか。																														
渡辺委員	予算（案）について、テレメーター装着を重点的に行うとの説明だ																														

	<p>ったが、テレメーターが平成25年度の6機から平成26年度は4機と減になり、電気柵関係の費用も減額で需用費が大幅に減額していることに対して、どういうことか。</p>
<p>事務局 當眞文化財 係 長</p>	<p>本年度は多くの個体にテレメーター装着をすることを目標に、前年度より多く予算に見込んでおりますが、現状としてサルの捕獲がなかなか難しく、思ったほどテレメーターが装着できていない状況です。平成26年度はサルを捕まえる檻の設置等の人件費を増やして、多くのサルを捕獲したいのですが、最近のサルの捕獲の少なさと捕獲してもテレメーターの装着に適さないサルもいますので、テレメーター装着に適したサル（オトナメス等）のテレメーター装着の数を、現状に合わせて本年度より減らした予算を組んでおります。</p>
<p>高橋議長</p>	<p>他にございますか。</p>
<p>本吉委員</p>	<p>2点伺いたいが、1点目は電気柵の有効期限（耐用年数）はどれくらいなのか。2点目として、ロケット花火による追い払いについて、聞くところによるとサルも慣れてきて効果があまりないとのことですがどうでしょうか。</p>
<p>直井(調査団)</p>	<p>電気柵の有効期限（耐用年数）について、具体的に何年とは言えないが、電気柵の管理の仕方、下草の刈取やこまめな修理等手入れが行き届いていたら古いタイプの柵でも10年以上稼働しているものもあります。新しいタイプはより長く持つが、最近設置したものについては何年も経っていないのでまだわかりません。</p> <p>ロケット花火の効果については、群れによる追い払いで、山に一步近づくと効果がありますが、サルも慣れてくると効果がありません。爆裂弾もあり効果もあるが、千葉県では使用されてはいません。</p>
<p>高橋委員</p>	<p>報告書の電気柵の図面を見ると、一周囲ってない（形状）場所もあるが、それでいいのかどうか。地理的条件で、囲わなくてもいいということなのですか。</p>
<p>直井(調査団)</p>	<p>おっしゃるとおりです。傾斜地や大規模の伐採をしないと電気柵が設置できない場所は、設置していません。あと地権者の許可が得られないところもあります。電気柵は設置後の維持管理をしないと有効で</p>

	<p>はなく、下草を刈ってないと草がからみつく等により電気が流れないことがあります。人の手が入りにくい山中は周回しても効果は薄いと思います。</p>
高橋委員	<p>今ある電気柵を改修していくほうが、周囲を囲うより効果があるということですね。</p>
直井(調査団)	<p>そうです。</p>
池田委員	<p>電気柵について、設置する場所によって柵の性格は変わる。土地の形状もあるが、昭和の頃は「万里の長城作戦」といって、集落を囲ってサルへの侵入を防ぐ目的で、山の中に電気柵を伸ばしていきました。その結果どうかといいますと、平成元年の台風被害で壊れてしまいましたが、電気柵を長く（万里の長城）したことで、一部が崩れて連鎖的に全部崩れてしまい使えなくなりました。壊れた電気柵を撤去しようにも、人の手が入りにくい山の中で片付けることもできずに、コンクリートの基礎等も放置したままです。こうした経験から、必要な場所を部分的に囲った（設置）方が効果的です。</p>
高橋議長	<p>ご意見はほかにございますか。それでは、ここで先ほど事務局より話がありました、平成25年度の事業計画として計画していた環境改変についてですが、本調査を委託していた方が本年2月に亡くなられたので、引き継ぎや現地確認等で今年度の実施が困難ということですので。平成26年度事業計画として行うことでよいかという提案が事務局からありましたが、いかがでしょうか。</p>
剣持委員	<p>来年度にやることで、予算はこのままで大丈夫なのか。</p>
直井(調査団)	<p>環境改変を入れても、来年度予算（案）のままでやれます。</p>
高橋議長	<p>環境改変事業についての、皆様の議決をとりたいと思います。説明のありました諸事情により平成25年度の事業ではなく、来年度事業として行ってよろしいでしょうか。 (異議なしの声)</p>

高橋議長	異議なしということで、来年度事業とさせていただきます。
高橋議長	<p>ご意見は何かございませんか。ないようでしたら、予算につきましては両市議会の議決を経てからということになります。両市議会の議決が得られた場合には、本委員会としてこの事業(案)、及び予算(案)で事業を実施することに承認を頂いてよろしいでしょうか。</p> <p>(異議なしの声)</p>
高橋議長	<p>本件は了承されました。</p> <p>千葉県より2名の方がおいでですので、何か関連のお話がありましたら、文化財課 平田様お願いします。</p>
県文化財課 平田氏	<p>管理団体である富津市・君津市に事業をお願いしており、いつも大変ご苦勞をかけています。高宕山サル生息地内のサルの実態の把握・調査に引き続き、努めてもらいたいと思います。</p>
高橋議長	<p>自然保護課 大澤様 お願いします。</p>
県自然保護課 大澤氏	<p>交雑問題でご心配をおかけしています。平成20年度から23年度にかけての千葉県のモニタリングの結果、県全体の交雑率は1.6%で県南6市町村で交雑が確認されています。平成24年度は鋸南町で交雑の群れ単位での捕獲を実施し、平成25年度は勝浦市を対象に行っております。この事態を受けて、国が平成25年度から平成28年度より3ヶ年の国の事業として調査に着手します。この成果を参考にして、県としても地元自治体と連携して行っていきたいと考えます。</p>
高橋議長	<p>何かご質問等ございますか。</p>
劔持委員	<p>千葉県自然保護課所管の「ニホンザル協議会」に出席した際に、富津市は面的にみると交雑個体なしだったと記憶しているが、今年になって、富津市の猟友会が駆除した中に、尻尾の立派なアカゲザルらしき個体があった。鴨川市や南房総市までアカゲザルが来ているから富</p>

	<p>津市にも入って来ているだろうと猟友会から話があったが、こういう現状でもやはり県としては、富津市には面的にはいないということですか。</p>
<p>県自然保護課 大澤氏</p>	<p>モニタリングの結果では、富津市には交雑がないということになります。交雑個体が次の世代（子・孫）と進んでおり、どの段階を交雑個体とするか、その判定基準もこれから検討するところです。</p>
<p>高橋議長</p>	<p>ご質問がなければ、そのほかご意見何かありますか。 事務局から何かありますか。</p>
<p>事務局 当真文化財 係長</p>	<p>はい。2月6日に文化庁文化財記念物課の江戸調査官の高宕山周辺の現地視察がありました。視察にあたり、県の平田氏に日程調整等尽力していただきました。出席者は江戸調査官・千葉県文化財課平田氏・富津市・君津市の文化財担当と高宕山サル調査団 計11名でした。午前中は、富津市宇藤原の電気柵設置個所を2か所、サルを捕獲した捕獲檻の現場を1か所視察し、高宕山周辺のT-1群の移動状況について調査団より説明を行いました。午後からは富津市民会館で現状・問題点等について情報交換を行いました。調査官からは指定地全体での群れ数・個体数を把握することが必要であるので、テレメーター装着個体を増やし、追跡調査を進めて欲しいとのことでした。本事業では今年度からテレメーター装着個体を増やすべく捕獲を中心とした事業計画を進めているので、次年度以降も継続していきたいと考えます。</p> <p>最後に調査官より、文化庁だからとあまりにも壁を作らず、文化財事業で困ったこと等あれば相談してほしいという話がありました。</p> <p>以上報告いたします。</p>
<p>高橋議長</p>	<p>何かご質問等ありますか。 ないようですので、議長の職を解かせていただきます。長時間にわたりご審議ありがとうございました。</p>
<p>藤江生涯学習 課長</p>	<p>それでは、以上をもちまして、平成25年度第2回天然記念物「高宕山のサル生息地」のサルによる被害防止管理委員会を閉会いたします。長時間にわたるご審議ありがとうございました。</p>